

利便性向上及び安全対策のための投資について

平成30年6月14日
あいの風とやま鉄道株

平成29年度における県経営安定基金からの繰入れの残余分を活用し、更なる利便性の向上を図るとともに、平成30年冬期における雪害状況を踏まえ、ハード面での雪への安全対策の充実を図ることとしたい。

記

1 更なる利便性の向上・・・H29.12.13 利用促進協議会で説明済み

(1) 無人駅への券売機の設置（平成30年度）

- ・対象駅 東滑川駅、西入善駅、越中宮崎駅
- ・概算経費 45百万円

(2) 西高岡駅のホーム旅客上家の設置（平成30年度）

- ・概要 下りホーム 跨線橋から米原方に設置
- ・概算経費 52百万円

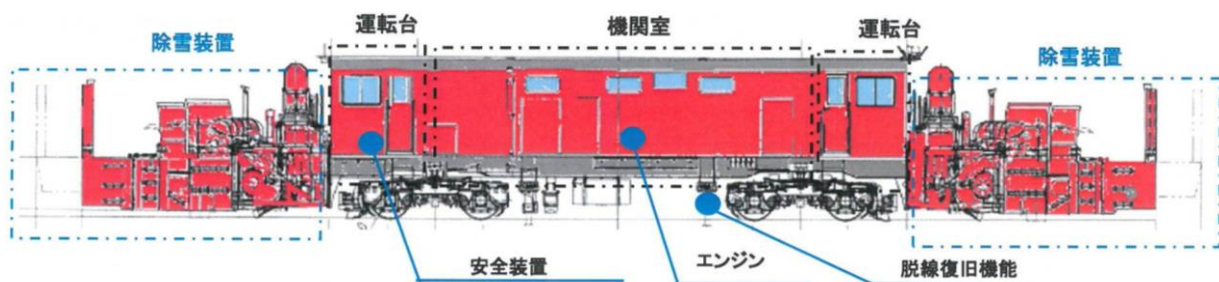
2 雪への安全対策への充実等

(1) 駅構内・踏切等の消雪施設設置、増設等（平成30年度）

- ・工事概要 散水用井戸の新設（高岡駅）
消雪ポンプの取替（小杉駅、入善駅）
ポイント部の散水装置の増設（泊駅）
温水高圧洗浄機の導入 等
- ・概算経費 79百万円

(2) 投排雪保守用車の整備（平成32年度）

現在、運用しているラッセル車が製造から44年経過し、老朽化していることから新たに投排雪保守用車を整備するもの。（製造元の製造スケジュールの関係で導入は平成32年度を予定）



- ・主要諸元 走行性能 0～25km/h（ロータリー投雪時）、0～70km/h（ラッセル排雪時）
投排雪量 14,000m³/h以上（ロータリー投雪時）、100,000m³/h以上（ラッセル排雪時）
- ・製造価格 300百万円（このうち国補助分1/3を除く200百万円を2年で積立 ⑩ ⑪
毎年100百万円）

合計 1(1) + 1(2) + 2(1) + 2(2) = 276百万円